

2020年6月6日(土)

オンラインZOOMにて
開催

14:00～16:00

(先端研ヴァーチャルオープンキャンパス期間中の開催)

参加
無料

主催・東京大学先端科学技術研究センター
郊外住宅地再生 社会連携研究部門

郊外住宅地 再生 フォーラム 2020

開催主旨

大都市圏の郊外住宅地は、高度経済成長期の急激な人口増加を受け止めるために開発されました。現在、開発されてから数十年が経過し、更新期を迎えており、人口減少や少子化、高齢化、ライフスタイルの変化などを背景に様々な課題が生じています。具体的には、空き家・空き地化、建物や植栽の維持管理不全、コミュニティ希薄化、交通環境や商業環境の悪化、高齢者ケア関係施設やサービスの不足、働く場の不足などが指摘されています。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大下において、郊外住宅地は都心部と比べて公園や緑地などが豊かに存在していることや、在宅ワークが普及してきたことから、住宅地としての価値が見直されています。

東京大学先端科学技術研究センター郊外住宅地再生社会連携研究部門は、産官学民が連携した研究・実践活動によって郊外住宅地の再生手法を創出するため、昨年10月に設立されました。今回は、そのキックオフフォーラムとして、そして新型コロナウイルス感染症の影響が続く中での郊外住宅地のまちづくりを議論することを目的として開催します。

東京大学先端科学技術研究センター 郊外住宅地再生社会連携研究部門について

東京大学先端科学技術研究センターは、2019年10月1日、大和ハウス工業株式会社、ミサワホーム株式会社、株式会社東急不動産R&Dセンターと「郊外住宅地再生」社会連携研究部門を設置しました。大都市圏に存在する郊外住宅地の再生手法の創出を、産官学民が連携した研究・実践活動によって行います。

担当教員：小泉秀樹(先端科学技術研究センター・教授)、
後藤智香子(先端科学技術研究センター・特任講師)ほか
参加教員：大月敏雄(大学院工学系研究科建築学専攻・教授)、
高見淳史(大学院工学系研究科都市工学専攻・准教授)、
樋野公宏(大学院工学系研究科都市工学専攻・准教授)ほか
協力教員(学外)：園田真理子(明治大学理工学部建築学科・教授)、
室田昌子(東京都市大学環境学部環境創生学科・教授)ほか
設置期間：2019年10月1日～2022年9月30日

お問い合わせ先
東京大学先端科学技術研究センター 郊外住宅地再生社会連携研究部門
info@cd.t.u-tokyo.ac.jp

プログラム

- 14:00 開会
- 14:00- 主旨説明 東京大学 特任講師 後藤智香子
- 14:05-14:25 事例報告①【上郷ネオポリス】
 - <実践>大和ハウス工業株式会社 瓜坂和昭
 - <研究>三井不動産株式会社 秋月優里(元・東大大学院)
- 14:25-14:45 事例報告②【新百合ヶ丘】
 - <実践>ミサワホーム株式会社 石塚禎幸
 - <研究>東京大学 特任助教 藤垣洋平(小田急電鉄株式会社)
- 14:45-15:05 事例報告③【こま武蔵台】
 - <実践>株式会社東急不動産R&Dセンター 内田宏
 - <研究>東京大学 准教授 樋野公宏
- 15:05-15:55 ディスカッション
 - <パネラー>事例報告者に加え、
 東京大学 教授 大月敏雄
 明治大学 教授 園田真理子
 東京都市大学 教授 室田昌子
 東京大学 准教授 高見淳史
 - <コーディネーター>東京大学 教授 小泉秀樹
- 15:55 閉会

事前申込制

6月4日12時までにGoogle formで
お申し込み下さい。
<https://forms.gle/TrQXNT3S1sJpZLS28>
その後メールにてZOOM URLをご連絡します。

